

2014 空の日 in 大分空港

期日 9月6日(土)

事前申込型のイベント(無料)

- ① 場内バス見学(120人)
- ② ソラシドエア機「世界農業遺産の里 国東号」
見学と撮影会(10組20人) ※午前8時頃予定
- ③ JAL折紙飛行機教室(40人)
()内は定員

当日のイベント

子ども制服撮影会、物販等販売
空港用消防車展示、その他

参加希望の方は、往復はがきに必要事項(希望イベント・グループ全員の住所・氏名・年齢・電話番号)を記入してお申し込みください。応募者多数の場合は抽選となります。はがき1枚につき1イベント4人まで記入可能です。

※①は小学生以下保護者同伴、②は1組2名まで(小学生以下保護者同伴)、③は6歳未満保護者同伴

申込期限 8月22日(金) 必着

※無料駐車場には台数制限がありますので、満車時は一般駐車場をご利用願います。

【申込・問合せ先】 〒873-0421 国東市武蔵町糸原 大分空港事務所「空の日」係
☎0978-67-3771

市長室からのご報告

NO. 39

市長日記

ローマ法王庁駐日特命全権大使 国東市長 三河 明史



7月6日

少し厳めしい名称ですが、バチカンの駐日大使であるローマ法王庁駐日特命全権大使ジョゼフ・チェノツトゥ大司教が国東にお越しくださいました。

7月6日(日)に国見町で行われる福者ペトロ・カスイ岐部神父を顕彰する殉教祭とミサに出席するため、5日(土)夕刻に大分空港に着きました。お出迎えのため大分空港に着くと、到着ロビーでは子どもたちが先生の指導で一生懸命英語と身振りで歓迎の練習をしています。昨年春にフランシスコ新ローマ教皇にお祝いのメッセージを送った熊毛小学校6年生の6人です。

午後5時35分、飛行機が到着しました。歓迎の横断幕を広げ、関係者や子どもたちが待機する中、到着口から大使が出てこられました。大使は、驚いた様子で子どもたちに話しかけます。子どもたちは、一人ひとりが小さな花束を渡しなが



な花束を渡しなが
覚えてた英語で歓迎の言葉を言います。そして、恥ずかしそうに握手をしました。私達も握手してお出迎えしました。中肉中背の穏やかな目を覗き込むように

して話をされます。実は、私は初対面ではないのです。昨年8月に「ペトロ・カスイ岐部フォーラム」を国東市で開催する際、案内状を持って東京のローマ法王庁大使館を訪ねたのです。運良く大使がおられ、アポイントなしの訪問にも関わらず会っていただいたのです。大使は、空港で「みかわ市長」と紹介されると、私の名前を覚えていたのだというのです。フォーラムの当日は国外にいます。国東にはお越しになれませんでした。でも、「国東市は福者ペトロの生まれ育ったところ。そしてフランシスコ教皇に御祝いのメッセージを送り、ご返事をいただいたところ」ということで、今回の殉教祭に出席されたのではないのでしょうか。それにしても、国東市に一国の特命全権大使が来られることは大変光栄で嬉しいことです。子どもたちにも良い勉強になったと思います。

大使はその日、市内に泊まれ、翌6日ペトロ・カスイ岐部記念公園に立ち寄り、その後国見町みんなかんの殉教祭・ミサに出席されました。みんなかんの殉教祭は、多くの市民や信者の皆さんから大歓迎を受けました。大使は、ここでも皆さん一人ひとりに声を掛けられ、手を握っておられました。偉大なる郷土の先人、ペトロ・カスイ岐部神父に心から感謝します。

こころをつなぐまちづくり

人権シリーズ vol.99



けんかにならない言葉づかい

「人権のまちづくり国見部会」の人権作文に応募された熊毛小学校四年(現五年生)重光星奈さんの作品を紹介します。

熊毛小学校四年 重光星奈

二学期の始め、掃除の時間に、ぞうきんのバケツのことで、Aさんとけんかをした。教室のぞうきんたん当の人が、最後にバケツを片付けにいくことが決まっている。しかし、たん当のAさんは持つていくことをわすれてバケツがそのままになっていた。私はそのことに気づいて、「Aさん、バケツ持つていかんと。」と言って、注意をした。



平成25年度国見町人権フェスティバルで発表する重光星奈さん

しかしAさんは、「なんで、また私が持つていかんといけんの。」といった。そこで私は「教室のぞうきんたん当の人が持つていくんで。」と強く言い返した。すると、Aさんは、「まだ他に人おるやん。」と言って、ついにけんかになってしまった。その時、近くにいたBさんが、「私が持つていくけんいいよ。」と言った。

でも私は、「Aさんが持つていかんと。」と言ってしまった。でもBさんはだまってバケツを持つていって、片づけてしまった。私はじゅ業が始まって、さっきのことが頭から離れなかった。

「どうしよう。Aさんに強く言いすぎたかな。」と心が落ち着かなくなつた。でも、私の中では、「Aさんが悪いんだから、あやまらなくてもいいか。」と言う気持ちもあつた。休み時間になつても、あやまる気はなかつた。そして、帰りのあいさつが終つた。私はAさんが帰つていく前に、ちや

んとあやまつた方がいいなと思つて、「Aさんさつきはつい強く言つてしまつたからごめんなさい。」とあやまつた。するとAさんは、「そんなこと全然気にしてなかつたから、いいんで。」と言つてくれた。私は、うれしかった。うれしくて、少しなみだ目になつてしまつた。

私は、こんな出来事があつてから、注意の言葉をもっとやさしくしたいと思つた。たと言いかえされても、強く言わないで、やさしく言つてあげてけんかにならないようにしたい。私は、あのとときのBさんの「私が持つていくけんいいよ。」の言葉と、Aさんの「もういいんで。」の言葉を忘れないでおこうと思つた。私もあんな言葉づかいができればいいなあと心の中で強く思つた。

第7回国東市隣保館まつり

「こころの川柳」応募作品

☆冷たい心も

家族の愛であたたかく

武蔵町 泰平成 一

☆頭痛さえなければ

孫に負けはせぬ

安岐町 無名子